

ひまわり通信

№ 38 平成 18 年 11 月 1 日

新潟市立東青山小学校

児童数 647 人

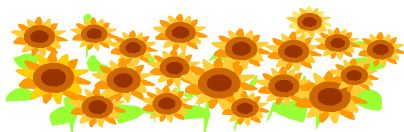
(231)9611 fax(231)9623

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/>

<http://www.niigata-inet.or.jp/higashi/i/> (携帯用)

E-mail h-aoyama@niigata-inet.or.jp

いのち輝く子ども



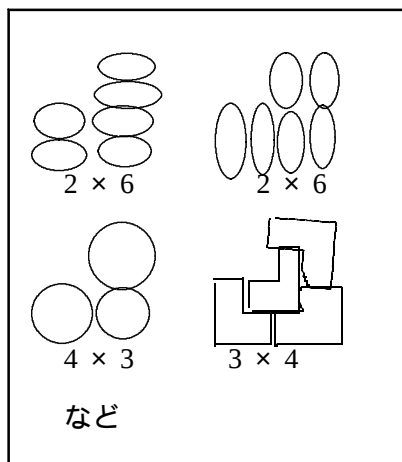
校内授業研究

当校では、学力向上を図るとともに教員の授業力アップをめざして校内研修を進めています。今年度の研究主題を「学び合いを通して考える力を育む学習指導の在り方」とし、全担任が授業公開をすることになっています。

先日 2 年生の授業公開があり、全担任が授業参観しました。授業者は、かけ算の意味を理解させるため下図のような 印を使い、「星の数を工夫して分けてかけ算の式で表す」という課題を提示し、授業を進めていました。



<自力解決する児童>



自力解決の時間では、児童一人一人が 4 種類の分け方に挑戦し、式を立てていきます。発表場面になると、自分の考え方を発表しようと積極的に手を挙げる児童が目立ちました。「4 つずつを囲むと、みんなで 3 つ分あるので、 4×3 です。」「を横に移動させるとこのようになり、式は 6×2 です。」などと、みんなの前で自分の考えをはっきり説明する姿が見られました。また、新しく学校に備え付けられた視聴覚機器「スマートボード」(黒板のように自由に書き入れたり、ボードにある図を移動したりできる)を使って、「きれいなかけ算にするために、ここをこのように移動させて、

...。」と説明する児童の姿も見られました。一方、教師の方から意図的に友だちの考えを読み取って説明させる工夫なども見られ、学び合う姿を育てる授業改善が進められていると感じることができました。

今後も、児童の学力向上を目指し授業研究を重ねていきます。

11 月 22 日(水)に、全校学習参観が予定されています。学び合いを通して自ら考える力が育っているかをご覧いただきたいと思います。

【11 月の行事予定】

- 7 日(火)就学時健診
- 8 日(水)B5 時程(市小研)
- 10 日(金)委員会 体育用品販売
- 13 日(月)ふれあいコンサート 3
読書旬間(～ 24 日)
- 15 日(水)市音楽祭
スクールカウンセラー訪問日
- 17 日(金)クラブ
- 18 日(土)県学校器楽合奏大会
- 22 日(水)学習参観日
- 24 日(金)委員会

学校保健委員会報告

当校では年に2回(10月、3月)、学校医をお迎えして学校保健委員会を開催しています。そこでは、保健指導や給食指導、体力等について学校の状況を説明し、出席者からご意見を求め、指導の改善に役立てるようにしています。10月6日に第1回学校保健委員会が開催されましたので、その主な内容について報告します。

学校医

橋本 謹也	様	(内科)
木村 重男	様	(眼科)
佐藤 弥生	様	(耳鼻科)
茂木 利正	様	(歯科)
國井 洋子	様	(薬剤師)

保護者

平野 明光	様	(副会長)
大竹 聡子	様	(PTA 幹事)

1 定期健康診断結果報告

- ・男子の身長は全学年が全国平均を超えているが、体重は4年生を除き全国平均を下回っている。女子は身長、体重とも少なめである。肥満傾向の児童は少なく、市や県の平均に比べてかなり低い。
- ・視力低下者の割合は市の平均と比べても少ない。4年生から視力低下が目立ち、5年生以上では40%を超えている。
- ・アトピー性皮膚炎が多く、市平均の1.6倍となっている。
- ・むし歯の児童は市や県の平均より少ない。一人平均むし歯数は市平均の半分であった。

2 学校給食の状況

- ・地場産、季節の物を使うようにしている。
- ・自分に必要な栄養は何かを考えて食べられるようにと、一口メモを各学級に配布し担任から働きかけてもらっている。
- ・給食ノートを各学級から書いてもらい、児童の声を聞いている。

3 児童の体力

- ・(ひまわり通信№34:体力テストの資料を使って説明)
- ・「体力の記録」を作成し、学期末に全児童へ配布した。

4 今年度及び来年度のテーマ

- ・給食後の歯磨きを校時表に位置付けて全校で実施している。また、学級指導の1時間を使って養護教諭が学年別に歯の状態に合わせた指導をクラスごとに実施している。歯肉炎の予防についてはかなりの成果が見られる。
- ・当校でも生活リズムの乱れが見られる。環境の乱れも関係していると思われる。そこで、学校保健委員会のテーマを「子どもの生活習慣と健康を考える」としたい。生活習慣アンケートで実態を把握し、家庭との連携した取組を実施したい。
- ・家庭へ働きかけをするため、文化祭に提示する資料を準備している。

5 協議・意見交換

- ・歯の事故が多いようだが、歯が弱くなってきているということではない。敏捷性の低下により、転倒の際に手が出なかったりすることなどが原因ではないか。(歯科医)
- ・学校の検診で疾患が早く見つかるということは、その子にとってよいことである。他の学校や県・市の平均と比較して窮する必要はない。(耳鼻科医)
- ・子どもが寝る時刻になって部屋に戻っていても、寝ていないとは限らない。目の届かないところもある。親自身の生活リズムも影響を与えているのではないか。(保護者)